

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

11

2010 No.674

目 次

3 はじめの言葉

4 論点を探る 繰り返される失敗の歴史から

情報処理の原点を学ぶ

田原文夫

情報処理とは、最終的にも作業途上においても人間力が大きく関与する作業である。基本となるデータ、根拠となる情報として何を重視し、採用するかによって最終判断は大きく異なる。いとも簡単に BI (ビジネスインテリジェンス) だ、情報分析だと言うが、情報そのものよりも、情報収集システムや分析ツールに目を奪われていると、とんでもない結果になる。歴史は繰り返すと言うが、失敗も繰り返されている。懲りないのが人間だと言ってしまえばそれまでだが、失敗の言い訳だけに人間を持ち出すのではなく、情報処理、情報システムの原点に人間をおいて考え直すべきだ。繰り返されている失敗を見ながら考え直してみる。

1 1 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 1 4 回 女流名人がコンピュータ将棋に

破れるまでの技術革新の歴史

根本忠明

去る 10 月 11 日、コンピュータが将棋でプロの棋士に勝つという悲願が、ついに達成された。人間のプロ棋士に勝ちたいという決意で始まった将棋ソフトウェア開発だったが、実に 35 年の歳月を経た快挙である。開発に関与してきた関係者の喜びは想像に難くないが、一方のプロの棋士にとっても、このことの意味、意義は大きい。コンピュータの将棋ソフトウェアが今後のプロ棋士養成に大きな役割を果たすと期待されるからだ。また、我々一般人にとっても、コンピュータが人間の知的活動を増幅させるレベルに達した証として注目したい出来事である。

1 6 情報社会を考える その 2

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

尖閣列島での領海侵犯記録情報のインターネット公開事件および公安当局の警備情報の漏洩事件は、来るべき情報社会の厳しい側面を提示して見せた。情報社会は、情報によって様々な恵みをもたらすだけではないことを、改めて思い知らしめてくれた。アメリカ、中国がサイバー軍の創設を明らかにしたのは今年になってからである。しかし決して、今年になって初めて創設したという意味ではない。その存在を公に認めたというに過ぎない。合わせて、サイバー軍の規模などを発表しているが、その内容がすべてだと信じているものは一人もいない。呑気な日本政府も情報管理を口にし始めたようだが、サイバー軍の創

設を本気で考えるまで意識が高まっているとは思えない。しかし現実には、今回の領界侵犯事件だけでなく、外資による日本領土内における土地買収が着々と進むなど予断を許さない状況になっている。改めて、世界における日本国、日本における企業、企業における我々自身の存在を考えさせられる。

20 システムリソースの

保守料金にまつわるセキュリティリスク aism

保守契約については、どの企業についても悩みが多いようだ。そこで aism ネットクラブでは、システムリソースに関する保守契約／保守料金について、現状の問題点を挙げて議論してみることにした。まずは会員相互の位相を合わせるために、aism 会員に向けたアンケート調査を実施してみた。結果、実に様々な保守問題が存在していることが、改めて確認された。一口に「システムリソース」と言っても、実に様々なリソースに関与していること、したがって、保守問題も、そのリソースの数だけ存在していることが確認できた。位相合わせが目的だったアンケートなのだが、実際の保守問題の具体論に入るや、以外や簡単には収束しそうにない。

25 人材紹介業界の秘話と悲話

第三話 愛する人よ、今どこに

Dr.ベスト

コンピュータによる相性占いがメッチャやたらと流行ったことがある。今は昔の物語だと思っていたら、意外や今日でも流行っているのだそうである。何と、婚活（結婚活動）の現場では大真面目で行われていると聞いて改めて驚いた次第。これは、男女が予め、自分の趣味、嗜好あるいは指向、将来のパートナーへの希望などを登録しておき、相互に最も適していると思われる相手を見つけ出してもらおう仕掛けだ。そして今ひとつ、ハローワーク現場での求人システムにも応用されている。

29 続インテリジェンスへのいざない ⑩

成長意欲がインテリジェンスを高める

今井 武

昨今のビジネスインテリジェンス (BI) ブームは、Web サイズのデータ／情報洪水環境の中から、思うに任せる有効データを取り出し、目標とされるインテリジェンスが確保できると喧伝されている。これまでも、こうしたブームは何度訪れてきたことか。どれだけ我々が、有効な情報、ビジネスインテリジェンスに枯渇してきているかという証左である。再びここで業界を挙げての提案がされているのは、決して、これまでの BI 活動が無駄であったとか、それほど有効なものではなかったということではない。基礎となるデータが手の届くところに豊富になってきたからである。しかしここで要注意。どこから着手すべきか問題を整理してみよう。

32 一味違うウェブ検索

第四話 ウィキペディアで重要なキーワード「一覧」

ぐうのうえぶへい

検索の妙手としてのウィキペディアの利用をしてみると、かなりの奥深さがあることに気付く。今月は、今一步踏み込んだウィキペディア活用をするための重要なキーワードとしての「一覧」に注目した一味違うウェブ検索方法を紹介してみたい。職員録や人名録としても利用でき、有名人の出身校や出身地別も、簡単に調べられる。

3 4 しすてむこらむ

データ流出で政府が叫ぶ「情報管理」論

とりあえず CWAT でも導入しますか

メゾフォルテ

中国人による尖閣列島沖での日本領海の侵犯事件の実際を記録したビデオ情報が、インターネット上に公開された。これを日本政府は、「情報管理の問題」だと捉え、大きく狼狽してみせた。公開されたデータ内容が、海上保安庁および検察関係者以外に直接アクセスできるものではないことから「犯人特定捜査」を指示、騒ぎはより大きくなった。ここでクローズアップされてきたのが、政府の言うところの「情報管理論」である。どういう情報管理を求めているのか。政府の期待する情報管理は、どうしたら実現できるのか。

3 6 連載 ことわざ笑タイム

すぎやまちヒロ

笑って考えてもらいます。

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,810円＋税 送料(〒300) A5版 289頁 **石井義興 著**
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 EJOが必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとホスト・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正統化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス
OLAP

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A5版 249頁 **豊島一政・木村 哲 共著**
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEJOにできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプロダクトの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 181頁 **田原文夫 著**
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意思決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 197頁 **一橋大学教授 安田 聖 監修**
aism情報セキュリティ・マージン研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの伝播と対策
第二章 aism情報セキュリティ・マージン研究会の発足	第十二章 メールが落ちない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 住友ネット運用のための情報オナーの確保
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedフォーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心構え
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ(教育)」
第八章 aismの2008年度の事業計画	第十八章 セキュリティ・ポリシー作成にあたってのチェックポイント
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 271頁 **高田 顯重 著**
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム革新
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダリングとスパース—

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300) A4版 212頁 **安田 聖 著**
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分割方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方程式のオーダリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計算方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの「得」広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,740円＋税 送料(〒300) A4版 288頁 **加藤洋一 著**
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 発表文も企業体質
■ ニュースリリースは双方向通信	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 系字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付>記者と向き合おう十六の鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国産グローバルサーバー
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,840円＋税 送料(〒300) A5版 260頁 **迫 忠幸・湯浅 誠 共著**
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日米提携手続の違い
第二章 なるプロジェクト	第十二章 米軍ゲーム開発の危機
第三章 斬りこむシステムへの働き	第十三章 新たな助っ人
第四章 WDCに向けて	第十四章 米軍事務所等転と新たな編み
第五章 FJC、IBM競争	第十五章 開発フル稼働と10人勝ち
第六章 日米プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日米運用体制と本番最終日
第八章 米軍チーム立ち上がりの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大谷な隆、共同コミュニケーション	第十九章 臨終その一 直前、後編、直後の話し
第十章 米軍チーム、能となる三人組	第二十章 臨終その二 安田隆雄と北米センター事故

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp